

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業

J-PEAKS シンポジウム2025

2025年8月4日



「地域の中核、世界の人材」

山梨大学は、豊かな教養と高い倫理性を持ち、広い教養と深い専門性を身につけた学生・教職員を育むことにより、知と技術における「地域の中核」となると同時に世界の平和と人類の福祉に貢献できる「世界の人材」を養成することを目標としています。

諸学融合と強み・特色育成の先駆け

諸学融合

- 平成14年 旧山梨大学と旧山梨医科大学を統合
- 平成15年 大学院医学工学総合研究部・教育部を設置
- 平成28年 大学院医工農学総合教育部に発展



強み・特色育成（抜粋）

- 昭和53年 工学部附属『燃料電池実験施設』設置
- 平成13年 クリーンエネルギー研究センター設置
- 平成20年 燃料電池ナノ材料研究センター設置：
山梨県が県有地を無償貸与, 高度な研究教育を地域から展開

スローガン「地域の中核、世界の人材」

独創的かつ学際的な研究教育、
地域貢献を通じて社会課題解決を先導

研究卓越性

強み・特色を生かし、
世界トップレベルの研究拠点を形成 & 諸学融合による
継続的な強み創出

地球規模の イノベーション

研究成果の社会実装と高度
人材輩出を通じて技術革新
と地球規模の社会変革を先導

地域の知の総和

総合知の形成により、
地域の課題解決や地方創生
に貢献する実効的な産学官金
連携ハブの形成

人材育成

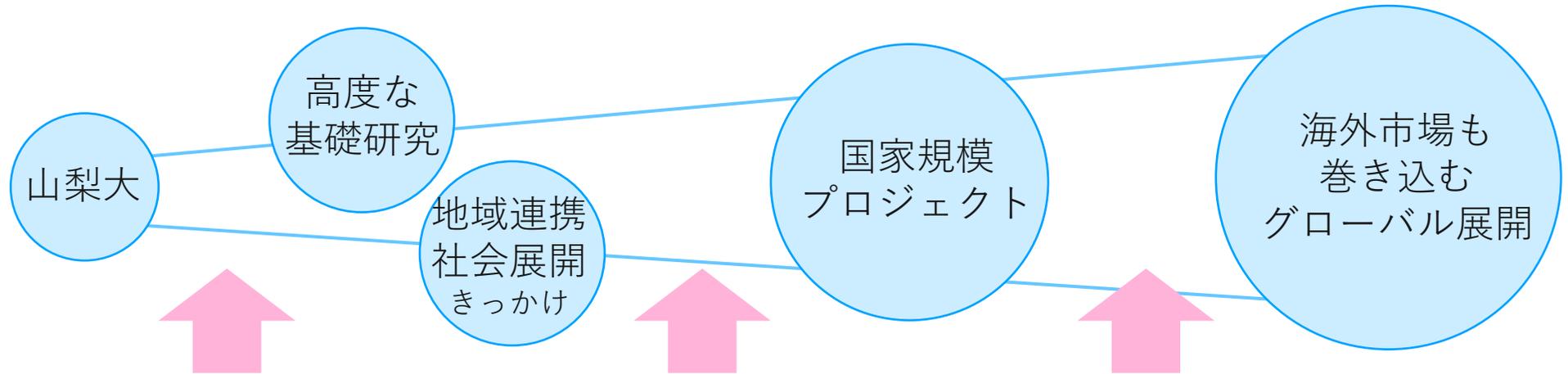
研究と教育の好循環を確立：グローバルな視点を持ちながら、
真に地域の活性化を担い世界で活躍できる人材の育成

J-PEAKS採択大学としてレベルアップ



先鋭研究強化 & 大学改革による全学的なレベルアップ

地域からグローバルへ:山梨大学発イノベーションの規模拡大戦略



大学仕掛け

産学官金連携の強化, マッチング拠点新設

企業や社会のニーズに寄り添う
研究シーズとのマッチング

経営企画URA育成, 研究戦略機能の強化

小規模研究から普遍性のある
新たな研究テーマを見出す

J-PEAKSで新設する国際拠点, 国際共同コーディネーター活用

グローバルな共同研究に発展させ、
共同研究費やライセンス収入を増加させる

裾野を広げる, 母数を増やす

先鋭研究をさらに伸ばす

開かれた拠点整備

共創環境棟

建設中



ゼロエミッション みらいラボ

建屋完成, 内部整備中

ガバナンス体制, 全学的な研究力強化に向けた取組

大学本部によるガバナンス体制

司令塔：研究力向上戦略の立案, リソース配分

研究強化・イノベーション創出本部（本部長：学長）

研究強化WG（主導：研究担当理事, 財務担当理事）

- ・研究戦略室：研究力分析, 情報・エビデンス収集
- ・国際外部評価委員会

実働部隊：研究推進・社会連携機構

学術研究部

研究推進課
社会連携課
(事務職員)

研究機器
統轄センター

研究機器
の共用促進,
一元管理
(技術職員)

研究力強化
推進センター

研究資金獲得,
研究実施支援,
教務支援
(URA, UEA)

社会連携・
知財戦略室

産学官金連携,
知的財産管理,
スタートアップ
(コーディネーター等)

組織・
人事制度
整備

リソース
重点配分

重点支援

職場
環境改善

世界トップレベルのグリーン水素研究拠点

グローバルニュートラルエネルギー研究機構
GR/EEN

世界トップレベルのグリーン水素研究者, 学生

- 水素・燃料電池ナノ材料研究センター
- クリーンエネルギー研究センター
- ゼロエミッションみらい研究センター（新）

融合

次世代の強み分野・融合研究ユニット候補

新分野創出・融合研究推進群 Y-PEAKS(仮)

GR/EEN関連分野以外の先鋭研究者, 学生

実績に基づく審査・選抜

山梨大学の全ての教員・職員

工学域

生命環境学域

教育学域

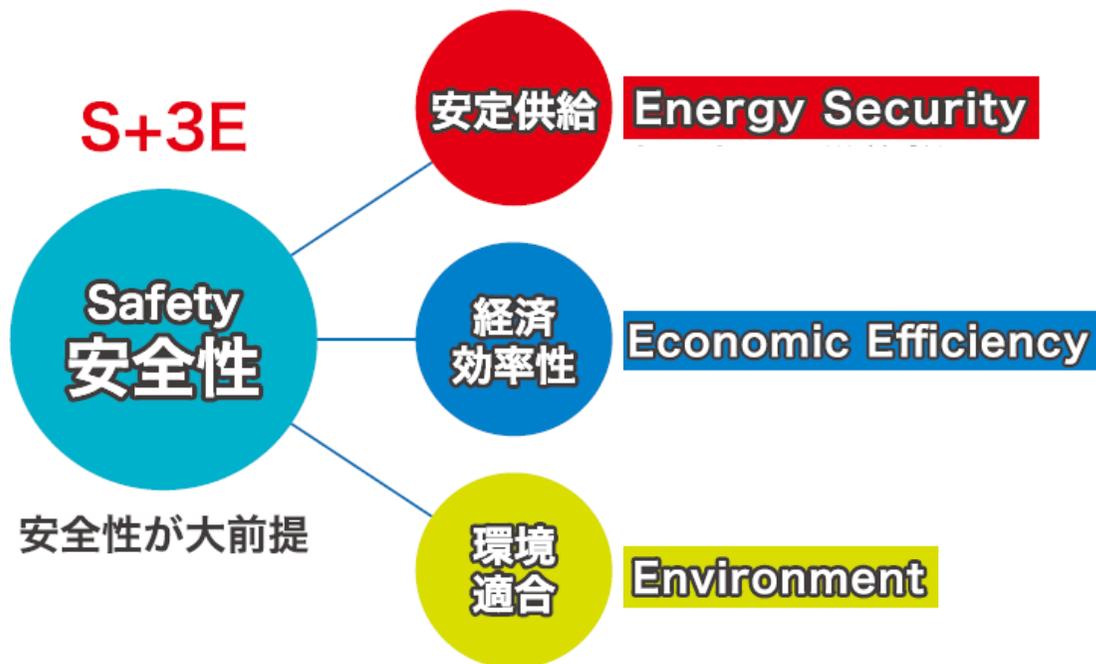
医学域

業務効率化による創造活動や研究時間増
人事評価システム見直し

諸学融合研究・産学官金連携の促進
教職学協働による大学運営

安全かつ持続的なクリーンエネルギー社会に向けた研究教育

日本のエネルギー政策の基本方針 (経産省資源エネルギー庁より)



グリーン水素の普及を目指して



技術課題

コア材料の効率と耐久性向上, 低コスト化, 非貴金属化

社会課題

人々や社会の受容性, 技術と政策のギャップ解消

福島大学や参画機関等とともに技術課題と社会課題を解決

GR/EEN

Global Research Institute for Energy & Environmental Neutrality
グローバルニュートラルエネルギー研究機構

グリーン水素に関連する研究教育リソースの集約

世界トップレベル研究者

- ・ 人事給与体系の整備：卓越/卓越若手研究者制度
- ・ 博士課程学生の待遇：特待生制度による研究奨励

研究者と協働する高度なマネジメント・支援人材

- ・ URA：外部資金申請, 研究実施支援, 異分野研究者のマッチング
- ・ UEA：教務支援, Education Administrator
- ・ ラボテクニシャン：実験支援
- ・ 国際共同コーディネーター：国際共同研究の開拓, 調整, サポート
- ・ 地方創生コーディネーター：産学官金連携, 地方創生
- ・ 知財マネージャー：特許出願, 知的財産, 契約管理

最新鋭の共用機器

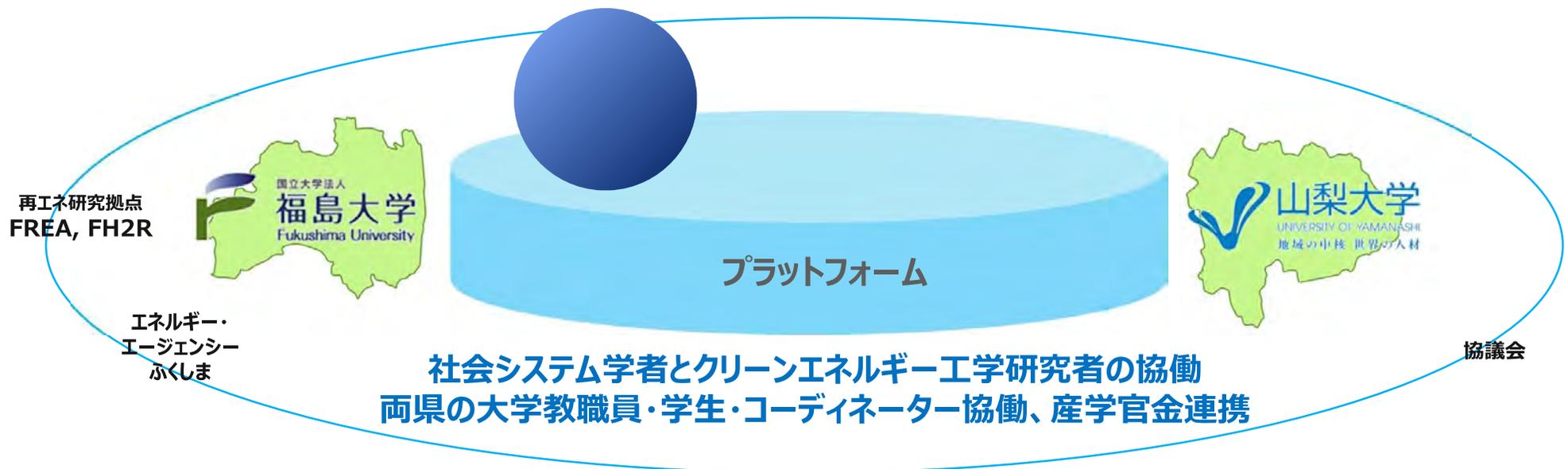
- ・ AI × 材料工学：
自動自律実験装置
新設, 研究効率アップ
- ・ 水素・燃料電池
セル評価システム
増設, 学内外共同利用促進



GR/EEN
研究教育棟

ゼロエミッションみらいラボ

地域をテストベッドとして水素社会の持続可能性を検証 『グリーン地方創生プラットフォーム』創設



材料工学 (化学, 物理, 機械) × **社会システム学** (環境経済, 都市計画)

山梨大学

GR/EEN副機構長
ドイツから招聘

教員・職員・学生の国際流動促進

- ・ 欧州, 北米, 東南アジアに海外拠点新設
- ・ クロスアポイントメントによる海外卓越研究者の雇用
- ・ 大学院 デュアル・ディグリープログラム

● 国内 参画機関

信州大, 九州大, 東京科学大,
京都大, 東北大, 大阪大, 成蹊大,
NIMS, FC-Cubic,
山梨県産業技術センター

● 海外 参画機関

ブラウンシュバイク工科大, ミュンヘン工科大(独),
カルフォルニア大マーセド校,
ブルックヘブン研(米),
サイモンフレーザー大, ケベック大(加),
マレーシア国民大, マレーシアプトラ大,
ペトロナス工科大(馬),
ベルン大学, ポール・シェラ研(瑞),
ポワティエ大(仏),
韓国エネルギー技術研究院(韓)

学士～博士課程一貫の専門コース確立

- ・学部クリーンエネルギー化学コース
- ・修士～博士課程カリキュラム再編

国内
唯一

- ・学士から博士課程まで一貫通貫で
高度な専門知識を体系的に学ぶ
- ・国内唯一 クリーンエネルギー特化カリキュラム

- ・福島大学との連携：山梨と福島の
混成フィールドワーク実施科目の実施

- ・海外連携 大学院 Dual Degree

- ・世界で活躍できる博士人材育成
- ・連携先：ハンブルク大学・ブラウンシュヴァイク工科大学（ドイツ）
マレーシア国民大学（マレーシア）
米国・カナダから1機関（現在、カルフォルニア大学マーセド校と協議中）



リカレント・リスキリングの山梨モデルを展開

- ・水素・燃料電池産業技術人材養成講座：山梨県⇒本学に委託（2016年～，185名以上修了）
山梨県に事業所をもつ企業を対象に，講義・現場実習・製作実習を提供
- ・福島県等の他地域に展開し，人材養成を通じたグリーン水素関連事業への新規参入促進

好評

諸学融合と教職学協働による総合知の形成

「地域の中核、世界の人材」を体現する研究と人材育成
産学官金連携による地域の活性化

J-PEAKSを契機に、山々を越えて革新の頂へ

